

「みんなが分かる授業づくりアイデアシート」の活用例

－児童生徒の様子から指導の工夫を考える－

児童生徒が直面している学習や生活上の困難さに対する指導の工夫は、その困難さの背景要因によって違うものが考えられます。

ここでは、いくつかの困難さと、予想される背景要因から指導の工夫を検討する例を示しました。実際には背景要因を特定しづらいことも多くあると思いますが、指導の仮説を立てて指導の工夫を試しながら、より適切な指導の工夫を検討していきましょう。



授業に集中できない

考えられる背景の例	【該当するアイデアシートの項目】 考えられる手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・ 注意の持続が難しい ・ 一つのことに注意を向けることが難しい 	[3 集中できる教室環境の工夫] <ul style="list-style-type: none"> ・ 余分な刺激をなくす → 座席配置や教室掲示などの工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・ 見通しが持てていない 	[2 予定や約束を理解しやすくするための工夫] <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定表の提示場所・タイミング [4 授業の見通しを持ちやすくするための工夫] <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の流れのパターン化 ・ 授業や単元のはじめに流れを提示
<ul style="list-style-type: none"> ・ やるべきことを把握していない ・ 優先順位が分からない 	[5 わかりやすい伝え方の工夫] <ul style="list-style-type: none"> ・ 見てわかる伝え方 ・ 手順の明示



一斉指示で行動できない

考えられる背景の例	【該当するアイデアシートの項目】 考えられる手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指示に集中できない 	※「授業に集中できない」を参照
<ul style="list-style-type: none"> ・ 周りの情報が気になってしまう 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指示が長すぎて覚えられない 	[5 わかりやすい伝え方の工夫] <ul style="list-style-type: none"> ・ 指示は1つずつ、明確に ・ わかりやすい言葉の使用 ・ 黒板に記す

みんなの前で発表することが難しい



考えられる背景の例	【該当するアイデアシートの項目】 考えられる手立て
<ul style="list-style-type: none"> 考えをまとめることが難しい 	[7 考えをまとめやすくするための工夫] ・ワークシートを活用して、思考したものを表現できるようにする
<ul style="list-style-type: none"> どう発表すればよいかわからない 	[8 考えを伝えやすくするための工夫] ・発表に使う、簡単な型を示す
<ul style="list-style-type: none"> 失敗しづらい雰囲気 自信がない、不安である 	[8 考えを伝えやすくするための工夫] ・「間違ってもいい」雰囲気を作る

机の周りが散らかっている



考えられる背景の例	【該当するアイデアシートの項目】 考えられる手立て
<ul style="list-style-type: none"> 作業のペースが遅くて片付ける時間がない 	[1 持ち物を整理しやすくするための工夫] ・整理整頓の時間を設ける
<ul style="list-style-type: none"> 整理整頓が苦手 (空間認知の問題など) 	[1 持ち物を整理しやすくするための工夫] ・ラベルなどで収納場所を明示 ・置き場所を決める ・置き場所の確保 (とりあえず BOX 等)

暗黙のルールが分からない



考えられる背景の例	【該当するアイデアシートの項目】 考えられる手立て
<ul style="list-style-type: none"> 場の状況が想像できない 過去の経験が一般化されたルールとして認識されていない 	「そんなことも知らないの？」 「〇年生なら常識でしょう？」と 頭ごなしに否定するのではなく…
<ul style="list-style-type: none"> 経験が不足している 	[5 わかりやすい伝え方の工夫] [8 考えを伝えやすくするための工夫] ・視覚化する ・明文化する



字の「読み」「書き」が難しい





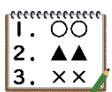
字の「読み」「書き」の困難さの背景については、専門的なアセスメントも検討しましょう

→知能検査（WISC-IV）や LD 判断のための調査票など

困難な状況	考えられる手立て [8 実態に応じた教材・教具の工夫]など
<ul style="list-style-type: none"> 文章を目で追うのが難しい 	<ul style="list-style-type: none"> 読みやすいフォント、改行位置 等 ルビをつける 拡大コピーを使う ICT の活用 リーディングスリットの使用
<ul style="list-style-type: none"> 板書を写すことが困難 	<ul style="list-style-type: none"> 板書計画を渡す マス目の大きいノートの使用 大まかにかけていけば良しとする
<ul style="list-style-type: none"> 文章の内容の理解が困難 	<ul style="list-style-type: none"> 関連するイラストをつける 全体の構造図を提示する 解答の選択肢を設ける

得意な学び方

子どもの抱えている困難さだけでなく、子どもが得意とする学び方から指導を工夫することも効果的です

得意な学び方	有効な手立ての例
見て学習することが得意 	<ul style="list-style-type: none"> 指示を箇条書きで板書する 話し言葉の他に、図や絵など視覚的な手がかりを用いる
聞いて学習することが得意 	<ul style="list-style-type: none"> まずは指示を聞くことができる雰囲気をつくる 大事なことは、声に出して確認する 不要な言葉は避けて、短く端的な指示をする
体を動かして学習することが得意 	<ul style="list-style-type: none"> 説明だけでなく、体験活動を積極的に取り入れる 考えているときに動き回れるような状況を設定する
全体像を把握しながら学習することが得意 （同時処理能力が高い） 	<ul style="list-style-type: none"> 活動の全体像や最終目標が分かる資料をはじめに提示する 完成図を先に提示する
順序立てて考えることが得意 （継次処理能力が高い） 	<ul style="list-style-type: none"> 順序を明確に示す（番号も） 順序や前後のつながりが分かるように、一つずつ順を追って説明する